

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	港営部 港営課長	連携担当課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	05港湾のコスト・サービス水準を向上する		連絡先	052-654-7871	
事務事業名	01港湾施設等使用料の低減化				

1 PLAN(目的・概要)

目的	名古屋港を利用する船社が低廉な使用料で利用できるようにします。	事業期間	平成11年度～継続
概要	日曜荷役船や大型船等などに対して、入港料及び係留施設使用料の減免を行います。	根拠法令・要綱等	入港料の減免及び係留施設使用料の減免に関する要綱
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	・平成21年度は名古屋港緊急対策の一環として、総トン数4万トン以上のコンテナ船を対象に、入港料の減免額を拡大 ・平成22年度においても上記を継続実施							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
インセンティブの適用対象隻数	単位	目標	-	3,050	3,089	3,089	3,089	インセンティブの適用対象となった船舶の隻数を累計します。
	回	実績	3,037	2,916	2,794			
	単位	目標						
		実績						
事業費	千円							
人員 正規職員	単位	人	0.30	0.30	0.30	0.30		
		嘱託職員	人					
人件費相当額	千円	2,606	2,631	2,575	2,633			
事業費・人件費の合計	千円	2,606	2,631	2,575	2,633			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
インセンティブによる減免額	単位	目標	-	139,000	156,414	156,414	156,414	各種インセンティブの実施により減免した金額を累計します。
	千円	実績	130,918	156,414	179,687			
	達成率(%)		-	112.5	114.9			
	単位	目標						
		実績						
達成率(%)								
観点	課題の有無	現状の「見える化」						その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・(無)						・他港のインセンティブ実施状況を把握しておく必要があります。 ・経済情勢や利用者ニーズの変化に注視する必要があります。
	目的・水準の妥当性	(有)・無						
有効性	利用者などの対象者ニーズ	(有)・無						・各種インセンティブの実施により、一定の成果をあげていますが、経済情勢や利用者ニーズの変化に注視する必要があります。
	成果の達成度	有・(無)						
効率性	内容の妥当性	(有)・無						・名古屋港の利用促進を図るため、本組合が主体的に実施する必要がありますが、使用料の低減化は収入減につながります。
	実施主体の妥当性	有・(無)						
	受益者負担の適正性	有・(無)						
	経済性	(有)・無						

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」・「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			収入減となる事業であり、財政負担とのバランスを図りながらコストについて削減していく必要があるため。
		維持	○		
		縮小			
		コスト			
今後の取組内容		平成22年度にて終了予定の「緊急対策」について、平成22年度中に実施効果や財政負担のバランスを慎重に検証し、必要性があると判断した場合には、平成23年度から通常のインセンティブ制度に取り込み実施します。			
・改善策 ・スケジュールの建て直し等					